在校生・卒業生・保護者・教職員

進路通信 2016/08 号外

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

統一学校説明会が間近に迫っていますが、今回は国公立大学の医学部医学科の２校、看護学部の１校について説明会で聞いてきた内容をそれぞれ述べていきたいと思います。前者は佐藤秀樹先生、後者は梅本先生です。また、ラストは毎回統一学校説明会に来ていただいている専門学校について紹介します。

◆特集　札幌医科大学・旭川医科大学（医学部医学科）

６月にこの２校についての入試説明会（特に推薦、ＡＯ入試）がありました。２大学の特徴やどのような学生を求めているかなどの学生像をまとめましたので参考してください。

１　アドミッションポリシーについて

《札幌医科大学アドミッションポリシー》　～募集要項より抜粋～

医学部は、北海道民の健康と医療を守り、地域に貢献できる医師及び国際的・先端的研究を通じて世界に貢献できる研究医を育てます。そのため、次のような資質を有する学生を求めます。

1　命を尊ぶ心を持ち、病める人を救う情熱のある人
2　周りの人への思いやりと奉仕の心、倫理観を持っている人
3　良心と社会規範に従い、良識ある行動ができる人
4　意志・研究医となるにふさわしいコミュニケーション能力、協調性及び想像力を持っている人
5　地域社会への興味・関心を持ち、北海道に貢献する意志を持つ人
6　国際的視野で考え行動し、科学的探究心と創造力を持って学習に取り組める人

《旭川医科大学アドミッションポリシー》　～募集要項より抜粋～

医師・看護職者としての適性とともに地域社会への関心を持ち、自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力を持つ学生

Ⅰ「医師・看護職者としての適性」
①病める人に限らず、他者の思いやる心を持つ学生
②人命に限らず、全ての生命の尊厳を理解し、社会的規範・道徳に沿って、自らの行動を律することのできる学生
③他者を尊重し、良好な関係を築くことのできる社会的能力を持つ学生
④幅広い分野の教養を身につける努力をしている学生
⑤最新の知識や技術を身につけるため、学習し続ける学生

Ⅱ「地域社会への関心」
①自らの居住地域及びその住民に対して愛着を持つ学生
②広い地域（北海道や他の都府県、国、世界レベル）の事柄に対して関心を持つ学生
③医療に限らず、広い地域社会一般の事象に対して関心を持つ生徒

Ⅲ「自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力」
①新たな事象に対して、自ら持つ知識・技術を独創的な視点から論理的に応用し、自らにとって未知の問題点を抽出できる学生
②未知の問題点を解決するために行動し、新たに学ぶことのできる学生
③豊富な知識量のみならず、他の領域への応用など、自ら持つ知識を活用することのできる学生

２校を並べて眺めてみても、医学部に相応しい学力はもちろんのことですが、地域に貢献できる人、高校生としての常識や倫理的な行動ができること、社会一般に関する関心がある人、知識のみで終わらずそれらを応用する力がある人、など大学がどんな力を求めているのかがわかります。

２　募集人員について

札幌医科大学医学部医学科旭川医科大学医学部医学科

推薦（地域枠）	推薦（特別枠）	前期（一般枠）	前期（北海道医療枠）
２０名	１５名	２０名	５５名

推薦(道北・道東特別選抜)	ＡＯ（北海道特別選抜）	前　期	後　期
１０名	４０名	４０名	２２名

３　選抜方法について

ここでは、主に推薦入試・ＡＯ入試の選抜方法について考えます。札幌医科大学は、センター試験の得点が７５％以上（選抜の対象にするか否かの判定のみ）であり、２次試験で地域枠は①総合問題（400 点）・個人面接（400 点）・調査書（200 点）で、特別枠は①総合問題（500 点）・面接（400 点）・調査書および自己推薦書（300 点）で合否が決まります。一方、旭川医科大学はセンター試験の得点が７５％以上（推薦は選抜の対象にするか否かの判断のみ、ＡＯは総合点に加算）であり、２次試験で推薦は①課題論文（300 点）・集団面接（300 点）・個人面接（300 点）で、ＡＯ入試は①課題論文（200 点）・集団面接（300 点）・個人面接（200 点）・センター試験（1200 点（国 200 数 300 理科 300 地歴 100 外国語 300）で合否が決まります。さらに旭川医科大学は推薦とＡＯの併願は可能であり、推薦から優先して選抜されます。複雑な入試形態と点数配分になっていますので、早めの志望校決定とそれに向けた戦略を練れば有利のなることは言うまでもありません。

４　試験日について

前期・後期日程はどの大学も決まっていますが、推薦・ＡＯ入試の試験日は大きく違います。

	推　　薦	Ａ　　Ｏ
札幌医科大学	平成 29 年 2 月 1 日（水）	
旭川医科大学	平成 28 年 11 月 26 日（土）	平成 28 年 11 月 5 日（土）6 日（日）

その違いは、センター試験の前にやるか後にやるかです。推薦・ＡＯ入試にもそれなりの準備が必要でありますので、その準備とセンター試験の勉強そして 2 次試験の勉強（当然受かる保証はありません。落ちたときのための一般入試の準備も同時並行でやります。）をやらなければいけません。札医を受験することを考えれば、センター試験後に推薦準備と 2 次試験の同時進行は難しいでしょうから、2 次試験の勉強、特に現役生と浪人生で大きく差がつく数Ⅲや理科は夏休みから秋の時期に完成できる人ではないと難しいと思います。

最後に、上の２つの医学部医学科を考えている皆さんは、勉強はもちろんのことですが例えば医進類型が行っている活動に積極的に参加し少なくとも医療関係で問題になっていることなどには関心を示し日々自分の考えを持つことが大事です。この後は誰かに教えられるのではなく、自分の手で調べ戦略を立てて学習計画を立ててください。

◆特集　札幌市立大学（看護学部）

１．大学の設立理念と特徴

(1)　設立理念

「人間重視を根幹に・地域社会への貢献」を中心として市民に開かれた大学、市民の力となる大学、市民が誇れる大学という、『札幌市立』であるということを強く意識している。

(2)　特徴

看護学部（桑園キャンパス）とデザイン学部（芸術の森キャンパス）の 2 学部からなる、ということが一番の特徴である。あとでも触れるが、看護学部学生はかなりの時間を芸術の森キャンパスで過ごすカリキュラムで学ぶことになっており、**「デザインと看護が連携し、人**

を学び、人を育む新しい学びの場」であることを重視している。また、地域の中で学生を育成していくという考えのもと、地域住民への聞き取り調査やプレゼンテーションなども行われている。

２．看護学部について

(1)　カリキュラムの特徴

看護に関する基本的なカリキュラムはほかの大学とさほど変わらないが、１～２年生の間は芸術の森キャンパスで学ぶ点が大きく異なる。

１年生　週３日　芸術の森キャンパス　　週２日（1 日のこともある）　桑園キャンパス

２年生　週１日（2 日のこともある）芸術の森キャンパス　　週４日　桑園キャンパス

・ディベートやディスカッションの方法・技術を学ぶ

・地域に親しむための見学や聞き取り調査

・連携のためのプレゼンテーションの方法を学び演習する

３年生

・地域の課題を見出し、専門的な視点で具体的な提案を地域社会に行う

（デザイン学部の学生との連携）

医学部・薬学部では OSCE という試験を経なければ次の段階や実習に進むことができないが、看護学部であっても札幌市立大学では開学時から実施していることも、大きな特徴である。OSCE は看護技術だけでなく、看護をする上での態度なども評価するシステムであるため、このことを見ても、社会で通用する「人」をこの大学で育てるということを明確に打ち出していることがわかる。そのため、1 年生から様々な施設での実習が行われている。

また、希望者は保健師コースに進むことが可能であるが、1 学年の定員が 80 名、外部からの受け入れが 10 名の合計 90 名に対して 30 名の枠がある。これは他大学と比較してもかなり大きな枠であり、保健師を目指す生徒には非常に適した大学だと言える。

３．大学が求める人物像と入試について

(1)　アドミッション・ポリシー

①人々の健康・心・暮らしに関心を持ち、生命の尊厳を理解しようとする姿勢を持った人

②豊かな感性と探究心を持って、柔軟に物事を考え、自主的に学修できる人

③他者と協調し、信頼関係を築くことができ、積極的に地域に貢献する意志を備えた人

そのためには、高等学校における国語・英語・数学・理科などの基礎的な学力、及び課外活動等によって培われた協調性や責任感のある人を求めています。

つまり、以下に該当する学生は求めていません、という風に解釈することができます。

・自分が所属する社会・住んでいる地域社会に関心がない、世の中の動きを知らない人

・言われなければ（言われても）学習できない人

・わからなければすぐあきらめたり、投げ出したりする人

・部活動や清掃活動、学校行事で頑張らない人、無責任な言動する人

次に示す入試科目だけで大学選択をする人がいますが、アドミッション・ポリシーに合致する生徒を選抜するための入試です。そんなに甘くはありません。

(2)　入試科目（看護学部は前期日程のみ）

①　センター試験

・国語（古文・漢文を含む）200 点、数学（数Ⅰ・A）100 点、
外国語（英・ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む）200 点（250 点を圧縮）、
理科（基礎科目から２つ、または基礎なし科目から２つ）200 点
の計 700 点

②　個別学力検査

・面接のみ（ただし、点数化はしない→総合判定資料のみ）

札幌市立
札幌市立大学
看護学部　定員
看護一般　４８

この大学を選択するにあたって、センター試験の科目数が少ないので、科目を絞って学習すれば何とかなる、と考えている人は非常に危険です。基礎的な学力があるというレベルがどういうものか、分かりますか？右のデータは 2016 年度入試のものですが、センター得点 700 点満点中 476 点以下に合格者はいません。年度ごとに変動はありますが、基本的にセンター試験の得点率が 70 %以下では合格は不可能です。面接は点数化しませんので、二次逆転もありません。つまり高等学校における基礎的な学力とはセンター試験で７０%以上の得点ができること、です。センター試験は平均点が 60 点を想定している試験ですから、受験生の「平均」では合格できない、ということです。普段の定期テストが赤点じゃなかった、平均点だった、と喜んでいる人はそのままでは手が届かない大学だと言えます。

札幌市立大学は理科の基礎なし科目を高校で履修していなくても、つまり本校の文型でも受験できる大学です。看護の専門科目に必要な理数的な知識は大学で教えるので構わない、ということでした。つまりこれは入学した学生を大学で育てる自信がある事の裏返しではないでしょうか。だからこそ、大学での学習にきちんと取り組める学生、何かに躓いてもあきらめずに頑張れる学生をこの入試で選抜しようとしているのです。

センター試験は一つの指標ですが、高校での頑張り、本人の頑張りがはっきり出る試験でもあります。なぜならセンター試験は、国・数・英・理科の基礎科目では高校 2 年生までの学習内容で出題されるものだからです。授業内容＝受験内容、普段の授業理解ができている＝定期試験ができている＝受験勉強の土台ができている、ということです。

立地条件も含め、たくさんの魅力のある大学です。ここに進学したい、という希望者は少なくありません。それでも、毎年受験倍率がそれほど高くならないのは、結局センター試験で思うような得点ができないことが原因です。この大学に進学したいのであれば、まず、高校での授業内容をしっかりと自分のものにすることが欠かせない、と強く感じた説明会でした。

◆特集　日本工学院北海道専門学校

毎年、統一学校説明会に来ていただいている日本工学院北海道専門学校について紹介します。特色はずばり「大学編入において、多数の合格実績を誇る」です。大学３年次編入が可能で、国公立大の室蘭工業大学や系列の東京工科大学（私立大学）など毎年約 60 名近くがさまざまな大学に編入しています。ここで身につけた専門技術と資格に加えて大学で高度な学問知識を獲得することにより、いっそう将来の可能性が広がるのではないでしょうか。大学じゃないから行かない、ではなく違う道から大学へ行く道があるということを生徒の皆さんに知ってもらいたいですね。

今年度から「情報処理科（大学編入コース）」を新設します。この学科では

①室蘭工業大学への編入･･･学力試験が免除になり、面接のみで受験可能

②東京工科大学への編入･･･入学金 25 万円免除　　が可能となります。